

に



世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済
物理, 化学, 生物 問題

はじめに, これを読みなさい。

1. この問題冊子は 149 ページある。ただし, ページ番号のない白紙はページ数に含まない。各科目のページ数は以下のとおりである。必要な科目を選択して解答すること。

世界史 B	1 ページから 21 ページ
日本史 B	22 ページから 42 ページ
地 理 B	43 ページから 68 ページ
政治・経済	69 ページから 88 ページ
物 理	89 ページから 104 ページ
化 学	105 ページから 123 ページ
生 物	124 ページから 149 ページ

2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか, 受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい, 解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答用紙の「解答科目マーク欄」にマークし, 「解答科目名記入欄」に解答する科目名を記入すること。マークされていない場合, または複数の科目にマークされている場合は, この時限の科目は採点対象外となる。
5. 解答は, すべて解答用紙の所定欄にマークすること。
6. 1つの解答欄に2つ以上マークしないこと。
7. 解答は, 必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
8. 訂正する場合は, 消しゴムできれいに消し, 消しくずを残さないこと。
9. 解答用紙は, 絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
10. 解答用紙はすべて回収するので, 持ち帰らず, 必ず提出すること。
11. 問題冊子は, 必ず持ち帰ること。
12. 試験時間は, 60分である。
13. 問題文の中で, 国名, 地域名, 企業名については略称, 通称も用いている。
14. マーク記入例

良い例	悪い例
	

日 本 史 B

(解答番号 1～34)

〔 I 〕 古代に関する次の文章を読み、設問に答えよ。

弥生時代の人骨に戦闘による死傷が知られる事例があるなど、倭国の社会は中国王朝の史料に記載されるような戦乱の時期が続いた。古墳時代の副葬品も、次第に武具や武器が占める割合が高くなっている。

大和朝廷につながるであろう、いわゆる倭の五王は武の宋への上表文に記されたように、日本列島のみならず、朝鮮半島においても軍事的活動を繰り広げて版図の拡大に関わる活動をしていた。^(ア)

飛鳥時代においては、王族の殺害や有力豪族の肅正など政治的な対立からの事件が数多く起こった。なかでも時の大王である 天皇が暗殺されたことは、天皇家と豪族との勢力が伯仲している時期ならではの一大事件である。

大海人皇子(後の天武天皇)と弘文天皇(大友皇子)が皇位を争った壬申の乱以降は、政治の主導権争いが中心となって事件が起こるようになった。奈良時代に、天武天皇の孫で左大臣だった長屋王が、自ら命を絶つまでに追い込まれた長屋王の変も起きている。これには藤原4兄弟が関わったと見なされている。この4兄弟のなかでも、北家を興したのが であり、道長にいたって摂関政治の全盛を迎えた。

摂関期に至るまでには、地方において多くの戦乱も起こったが、政治の中核では、藤原氏による他氏排斥の事件などで多くの貴族・官人が処罰されている。

なかでも貞観8(866)年に起こった応天門の変は、火災が都の人々の驚きのまなざし^(イ)でとらえられた大きな事変であったといえる。さらに、他氏族ではなく藤原氏同士での勢力争いは、次第に都において武者の世への道を拓く一つの要因ともなった。

問 1 空欄 1 にあてはまる語句として正しいものを、次の A～E のうちから一つ選べ。(解答番号 1)

- A 用明 B 敏達 C 孝徳
D 宣化 E 崇峻

問 2 空欄 2 に当てはまる語句として正しいものを、次の A～E のうちから一つ選べ。(解答番号 2)

- A 麻呂 B 不比等 C 宇合
D 房前 E 武智麻呂

問 3 下線部(ア)に関して、この当時の情勢の記述として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 3)

- A 江田船山古墳出土鉄刀銘文には、倭王と見なされる人物が朝鮮半島地域に勢力を伸ばしたことをうかがわせる記述がある。
- B 好太王(広開土王)碑には、高句麗が倭の軍勢を返り討ちにしたことなどが刻まれている。
- C 『日本書紀』には、「任那」を討伐して、朝鮮半島に大きな地歩を築いて影響力を高めたと記されている。
- D 石上神宮所蔵七支刀銘には、新羅王からの贈り物とする内容が刻まれており、協力して百済を攻め立てたことが知られる。

問 4 下線部(イ)に関して、応天門の変の説明として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 4)

- A 事件に当たった右大臣藤原良相はほどなく亡くなり、結果的に藤原良房が昇進して摂関政治のスタートを切ることとなった。
- B 真相が明らかになったきっかけは、伴善男の従僕生江恒山に子女を殺された大宅鷹取が訴え出たことである。
- C 伴善男の従者の発言により、善男と息子の中庸が首謀者であることが露見して、死罪に処されている。
- D 応天門は、古く伝統により大伴氏が造営したので、伴氏を陥れようとした陰謀だという口実をもうけて左大臣源信を讒言したといわれている。

〔Ⅱ〕 中世の挙兵に関する次の文章を読み、設問に答えよ。

中世における政権の打倒という手段においては、しばしば挙兵と呼ばれる軍事行動が用いられる。平氏によって伊豆国へ流されていた源頼朝は、1 の皇子以仁王の打倒平氏政権の呼びかけに応じて挙兵し、鎌倉に幕府を作り武家政権を確立することができた。頼朝が確立した鎌倉幕府に対し、朝廷政治の挽回をはかり挙兵したのが承久の乱である。その中心人物である2 は、広大な荘園群を手に入れ経済基盤を充実させたが、ある荘園の地頭罷免をめぐる幕府と対立し、新たに西面の武士をおき軍事力を強化したが、武家政権を倒すまでは至らなかった。

しかし、元寇後、執権北条氏の専制政治への反発が強まると、朝廷内で天皇の権限強化を推し進めた3 が討幕を呼びかけ、反幕府勢力や有力御家人を引き入れることができ、鎌倉幕府を滅ぼすことに成功した。討幕後、天皇へ権限を集中させた政権を確立させたが、天皇の力だけでは治まらず政務の停滞や社会の混乱を招いた。その状況をみた足利尊氏は、幕府の再建を目指し挙兵した。このような動乱の末、誕生した室町幕府だが、その足利氏による政権も戦乱に悩まされた。

問 1 次の人物説明A～Dのうち、空欄1～3のいずれにもあてはまらないものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号5)

- A この人物は朝廷の年中行事について記した『建武年中行事』などを著述した。また、『新葉和歌集』などに心境を述べた和歌を残している。
- B この人物は朝廷の儀式や政務などについて記した『禁秘抄』を著わした。また、藤原定家や藤原家隆らとともに歌会に参加し、和歌の才能を磨いた。
- C この人物は熊野を篤く信仰し、参詣は28回に及んだ。また和歌にすぐれ、和歌所を置いてすぐれた歌人を集め『新古今和歌集』を勅撰し、みづから追加・削除を行なった。
- D この人物は諸寺・諸山への参詣も多く、熊野への参詣は34回に及んだ。また芸能を好み、今様を集めて『梁塵秘抄』を編纂した。

問 2 下線部(ア)に関して、源頼朝挙兵について述べたものとして誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号6)

- A 頼朝挙兵を知った京都の公家の中には、平治の乱の謀反人源義朝の子が平将門のごとく東国で謀反を企てたと評する者もいた。
- B 頼朝が挙兵した伊豆国は、以仁王を奉じて挙兵した源頼政の知行国であったが、頼政敗死後に平氏の手へ渡っており、頼朝は同国目代の山木兼隆を攻めた。
- C 伊豆国の在庁官人であり桓武平氏の子孫を称する北条時政は、子の北条義時らとともに頼朝に従軍し、時政の館が挙兵の拠点となった。
- D 下野国を本拠地とし清和源氏の流れを汲む小山朝政は、頼朝の乳母でもある母寒河尼に伴われ頼朝の挙兵に参陣し軍功をあげた。

問 3 地頭の罷免をめぐって鎌倉幕府と朝廷の対立の原因の一つとなった下線部(イ)の荘園を、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号7)

- A 奥山荘 B 倉橋荘 C 東郷荘 D 太良荘

問 4 下線部(ウ)について、次の『太平記』の現代語要約 A～D を古いものから年代順に正しく配列した場合、3 番目に当てはまるものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 8)

- A 足利尊氏は関東八カ国支配の願いをたやすく達成し、征夷(大)将軍も今回の戦功次第との帝の約束があったので、すぐに関東へ下向し北条時行を征伐するため出発した。
- B 大館氏明の軍勢三千余騎が灯炉堂の南の浜に陣を構えた。楠木正成はわざと他の軍勢を交えず一族七百余騎で湊川の宿の西に陣を構え陸路から敵軍と相對した。
- C 大塔宮(護良親王)ならびに楠木正成討伐について。北条治時を上洛させるので、(この命令書を受け取った御家人は)一族らを引率して、来月(十二月)二十日までに陣し、治時の命令に従い戦場で忠節を示しなさい。
- D 九代の繁栄は当代に滅亡して源氏は多年の胸の思いをわずかな間解き放つことができた。おごる者は久しからず。目前の幕府滅亡の悲しみを見る人々は皆涙を流すのであった。

問 5 下線部(エ)について、次の A～D の戦乱ときっかけについて正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 9)

- A 応永の乱 - 将軍足利義満と有力守護大内義隆の対立に、鎌倉公方足利満兼が呼応しておきた。
- B 明徳の乱 - 一族で 11 か国の守護を領した山名持豊らを、将軍足利義満が挑発しておきた。
- C 享徳の乱 - 鎌倉公方足利成氏が関東管領上杉憲忠を謀殺したことが発端としておきた。
- D 永享の乱 - 鎌倉公方足利持氏と関東管領上杉憲実の対立を契機に、将軍足利義政が上杉氏を支援しておきた。

〔Ⅲ〕 近世の出版に関する次の文章を読み、設問に答えよ。

16世紀半ばの東アジア地域では、国家による公貿易が衰退し、日明間の勘合貿易^(ア)は断絶したが、モノや情報の往来は活発であった。その担い手は環シナ海を往来する後期倭寇などの民間人であり、国の枠をこえた中継貿易を盛んに行なった。そこにポルトガル人が参入して環シナ海貿易は世界貿易とつながり、日本には鉄砲(火縄銃)やキリスト教など、新規の輸入品や文物がもたらされた。

これらの中に、イエズス会宣教師 が輸入した、金属活字の印刷機があった。^(イ)宣教師が建設したコレジオやセミナリオでは、天文学、医学、地理学など、ヨーロッパ由来の諸学問がキリシタンに教授されたが、現存するキリシタン版の などを見ると、それだけではなく、日本の文学を使った教育も行われていたことがうかがえる。さらに、豊臣秀吉政権の朝鮮侵略の際には、朝鮮からも活字印刷術が伝えられ、慶長年間に の勅命で、木製の活字による数種の書物(慶長勅版)が出版された。このように近世初期には、活発な海外交流を背景にした知識の普及が見られたのである。

江戸幕府の鎖国政策が始まると外国の影響が少なくなり、泰平の世の中で芸^(ロ)術、学問が広範に受容され、民衆の中で識字層が大幅に増加したことも相まって、日本独自の文化を反映した出版物が豊富に生み出された。元禄期には現実の世相や風俗を反映させた井原西鶴の作品 などが、人びとの共感を得て流行した。学問面では儒学が独自の発展を遂げ、熊沢蕃山は で、 もまた著作『聖教要録』で朱子学的解釈を批判したため、幕府から弾圧を受けるにいたった。

一方で、鎖国下の人びとの世界への関心は高く、1695(元禄8)年には長崎の町人学者 が最新の海外情報を記した、『華夷通商考』の出版をみた。^(オ)また などの数多くの著作で知られる新井白石は、密入国宣教師 と中国地理書から情報を得て世界地理書の『采覧異言』を記した。この書は刊行されたわけではないが、識者の間で広く転写され、幕末の学界に絶大な影響を与えた^(カ)とされている。

問 1 空欄 1～5 に入る人物名の組み合わせとして正しいものを、次の A～H のうちから一つ選べ。(解答番号 10)

- | | | | |
|---|-------------|-----------|----------|
| A | 1 - フロイス | 2 - 正親町天皇 | 3 - 山崎闇斎 |
| | 4 - 渋川春海 | 5 - シドッチ | |
| B | 1 - フロイス | 2 - 正親町天皇 | 3 - 山鹿素行 |
| | 4 - 渋川春海 | 5 - ヴィレラ | |
| C | 1 - フロイス | 2 - 後陽成天皇 | 3 - 山崎闇斎 |
| | 4 - 西川如見 | 5 - シドッチ | |
| D | 1 - フロイス | 2 - 後陽成天皇 | 3 - 山鹿素行 |
| | 4 - 西川如見 | 5 - ヴィレラ | |
| E | 1 - ヴァリニャーニ | 2 - 正親町天皇 | 3 - 山崎闇斎 |
| | 4 - 渋川春海 | 5 - シドッチ | |
| F | 1 - ヴァリニャーニ | 2 - 正親町天皇 | 3 - 山鹿素行 |
| | 4 - 渋川春海 | 5 - ヴィレラ | |
| G | 1 - ヴァリニャーニ | 2 - 後陽成天皇 | 3 - 山崎闇斎 |
| | 4 - 西川如見 | 5 - ヴィレラ | |
| H | 1 - ヴァリニャーニ | 2 - 後陽成天皇 | 3 - 山鹿素行 |
| | 4 - 西川如見 | 5 - シドッチ | |

問 2 空欄 a～dに入る書名の組み合わせとして正しいものを、次のA～Hのうちから一つ選べ。(解答番号 11)

- | | | |
|---|------------|-------------|
| A | a - 『平家物語』 | b - 『日本永代蔵』 |
| | c - 『大学或問』 | d - 『慎機論』 |
| B | a - 『平家物語』 | b - 『戊戌夢物語』 |
| | c - 『稽古談』 | d - 『読史余論』 |
| C | a - 『伊勢物語』 | b - 『戊戌夢物語』 |
| | c - 『稽古談』 | d - 『慎機論』 |
| D | a - 『平家物語』 | b - 『日本永代蔵』 |
| | c - 『大学或問』 | d - 『読史余論』 |
| E | a - 『伊勢物語』 | b - 『日本永代蔵』 |
| | c - 『稽古談』 | d - 『慎機論』 |
| F | a - 『伊勢物語』 | b - 『日本永代蔵』 |
| | c - 『大学或問』 | d - 『読史余論』 |
| G | a - 『平家物語』 | b - 『戊戌夢物語』 |
| | c - 『稽古談』 | d - 『慎機論』 |
| H | a - 『伊勢物語』 | b - 『戊戌夢物語』 |
| | c - 『大学或問』 | d - 『読史余論』 |

問 3 下線部(ア)の説明として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 12)

- A 日本から明へは銅などの鉱産物のほか、扇・屏風などの工芸品、刀剣などの武具を輸出した。
- B 勘合とは、明から交付される証票であり、遣明船は持参することが義務付けられた。
- C 勘合貿易は、室町4代将軍の足利義持が朝貢形式に反対したため一時中断したが、6代義教の時に再開された。
- D 1523(大永3)年には、貿易の実権を握っていた細川氏と大内氏が寧波で激突し、争いに勝った細川氏がその後の貿易を独占した。

問 4 下線部(イ)の説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。

(解答番号 13)

- A ヨーロッパでは宗教改革によるプロテスタントの動きが活発であったが、カトリック側も勢力の挽回を図ってアジア布教に乗り出した。その一つがイエズス会である。
- B イエズス会は宣教師ザビエルの来日以降、徳川政権の禁教令によって国外追放されるまで、日本でキリスト教布教を行なった唯一の修道会として有名である。
- C イエズス会は、キリシタン大名の大友宗麟から長崎を教会領として寄附された。
- D 清貧を旨とするイエズス会は、南蛮貿易といった世俗的利益には一切関与しない布教を行なったため、ローマ教皇から布教資金を得るために天正遣欧使節をヨーロッパに送った。

問 5 下線部(ウ)に関する説明として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 14)

- A 全国を統一した豊臣秀吉は、中国を中心とする伝統的な国際秩序が明の国力衰退で変化する中で、日本を東アジアの中心とする新しい国際秩序をつくることを志した。
- B 1592(文禄元)年、日本軍は鉄砲の威力などによって漢城(ソウル)、平壤を占領したが、朝鮮水軍の活躍や義兵の抵抗、明の援軍などにより、戦局は不利になった。
- C 休戦中の和平交渉では、明皇帝と日本の皇女の結婚、朝鮮南部の割譲などが秀吉の要求として明側に伝えられたが、拒絶されたため、交渉は決裂した。
- D 1587(天正 15)年、秀吉は対馬の宗氏を通して、朝鮮に対し入貢と明へ出兵するための先導を求めた。

問 6 下線部(エ)に関する出来事Ⅰ～Ⅴの順番として、正しいものを、次のA～H

のうちから一つ選べ。(解答番号 15)

- Ⅰ スペイン船の来航を禁止
- Ⅱ イギリスが平戸商館を閉鎖して退去
- Ⅲ 奉書船以外の海外渡航禁止
- Ⅳ 宣教師・高山右近らを海外に追放
- Ⅴ 日本人の海外渡航および帰国を全面禁止

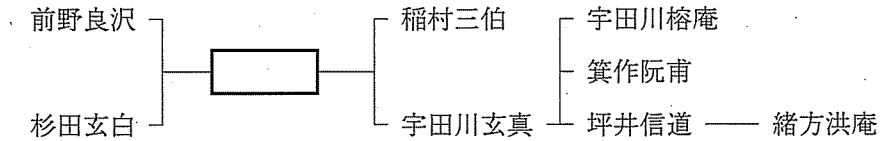
- A Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅴ→Ⅳ
- B Ⅰ→Ⅲ→Ⅳ→Ⅱ→Ⅴ
- C Ⅰ→Ⅳ→Ⅴ→Ⅱ→Ⅲ
- D Ⅰ→Ⅴ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ
- E Ⅳ→Ⅰ→Ⅱ→Ⅴ→Ⅲ
- F Ⅳ→Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ→Ⅴ
- G Ⅳ→Ⅲ→Ⅴ→Ⅱ→Ⅰ
- H Ⅳ→Ⅴ→Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ

問 7 下線部(オ)における、鎖国下の異国との交流関係の説明として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 16)

- A オランダ船は、中国産生糸や織物類、薬品・砂糖・書籍などを日本にもたらした。
- B 幕府は輸入増加による銀の流出をおさえるため、1685(貞享2)年、年間貿易額を制限し、銀換算で中国船は3000貫、オランダ船は6000貫までとした。
- C 幕府はオランダ商館長が提出するオランダ風説書と唐船によってもたらされる唐船風説書によって、海外の情報を得ることができた。
- D 幕府は長崎の町に雑居していた清国人の居住地を限定するため、唐人屋敷を設けた。

問 8 下線部(カ)に関して、洋学の発達が注目される。以下の《洋学者系統図》の空欄に入る人物の説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 17)

《洋学者系統図》



- A 本草学者、科学者、戯作者と多才な顔を持ち、洋画にも優れ、『西洋婦人図』を描いた。
- B 死刑囚の腑分けの見学を契機に、『解体新書』を訳述した。回想録に『蘭学事始』がある。
- C 長崎に遊学し、江戸に家塾の芝蘭堂を開いた。『蘭学階梯』の著述で有名。
- D 幕府書物方であり、将軍徳川吉宗の命で蘭学を学び、甘藷栽培を勧めた。

〔IV〕 明治前期における日本の政局について記した次の文章を読み、設問に答えよ。

1868年の鳥羽伏見の戦いに勝利した新政府は、近代国家の建設を図り、改革^(ア)を推進する。1871年には廃藩置県が断行された。

集権化を達成した政府は、^(イ)1871年から1873年にかけて、各種の急進的改革を実施する。一方、この間に右大臣岩倉具視を大使、1らを副使とする使節団が欧米に派遣された。彼らが1873年に帰国したのち、朝鮮をめぐる問題により政変が起きた。

政変後、2を中心に殖産興業が推進されたが、様々な反政府運動が起きた。政府は1876年10月にあいついで発生した士族の反乱を鎮圧する。

1877年に勃発した西南戦争をへたのち、政府は自由民権運動の全国的展開と^(エ)財政難に直面した。そうしたなかで、^(オ)1881年に明治14年の政変が起き、大隈重信が失脚した。

その後、薩長出身者を中心とする政治指導者たちは新たな制度や法令の整備に努め、1889年に大日本帝国憲法が發布された。この間、産業・経済においても^(カ)日本は大きな発展を遂げていく。

問 1 空欄 1 にあてはまる人名として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 18)

- A 板垣退助 B 江藤新平 C 伊藤博文 D 大隈重信

問 2 空欄 2 にあてはまる官庁として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 19)

- A 商工省 B 内務省 C 工部省 D 民部省

問 3 下線部(ア)に関連し、廃藩置県以前に行われた政府の改革として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 20)

- A 立法について諮問する機関として、左院が設置された。
- B 新貨条例が制定され、円・銭・厘が通貨の単位となった。
- C 北海道を開発するため、開拓使が設置された。
- D 神祇官が再興され、祭政一致の方針が示された。

問 4 下線部(イ)に関連し、廃藩置県に関する説明として正しいものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 21)

- A 廃藩ののち、新たに御親兵が編成され、軍事力が強化された。
- B 知藩事を解任された旧藩主たちは、東京居住を命じられた。
- C 廃藩置県に反発した奇兵隊など旧長州諸隊が鎮圧された。
- D 廃藩置県により、旧藩主は領地と領民を天皇に奉還した。

問 5 下線部(ウ)に関連し、1871年から1873年にかけての出来事として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 22)

- A 各地に鎮台が置かれ、徴兵令が制定されるなど軍事制度が整備された。
- B 西洋諸国と日付を合わせるため、旧暦にかえて太陽暦が採用された。
- C 地租改正に反対する血税一揆が、三重県や茨城県などで発生した。
- D 日清両属を解く目的で琉球に藩が置かれ、国王尚泰を藩王とした。

問 6 下線部(エ)に関連し、1876年に士族反乱が鎮圧された地域として誤っているものを、次のA～Dのうちから一つ選べ。(解答番号 23)

- A 熊本
- B 萩
- C 秋月
- D 佐賀

問 7 下線部(オ)に関連し、西南戦争終結後から明治 14 年の政変にかけての時期の自由民権運動に関する説明として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 24)

- A 政府は運動に対抗し、新たに讒謗律や新聞紙条例を定めた。
- B 負債の減免を求める農民たちにより、困民党が組織された。
- C 民権派政社の機関紙として、『東京日日新聞』が創刊された。
- D 国会期成同盟が結成され、私擬憲法が各方面で起草された。

問 8 下線部(カ)に関連し、1881 年から 1889 年にかけての時期の産業・経済に関する説明として正しいものを、次の A～D のうちから一つ選べ。(解答番号 25)

- A 渋沢栄一らにより、大阪紡績会社が設立され、紡績業が発展した。
- B 第 1 回内国勸業博覧会が、東京の上野で開催された。
- C 横須賀造船所が三菱に払い下げられ、財閥の発展につながった。
- D 国立銀行が各地で開設され、銀兌換による銀行券が発行された。

〔V〕 近現代の日中関係に関する次の文章を読み、設問に答えよ。

1937(昭和12)年7月7日に勃発した [1] 事件を発端として日中全面戦争が始まった。戦争は、日本側の当初の予想とは異なり、1945年まで続く長期戦となった。近衛文麿内閣は、1938年1月、「爾後、国民政府を対手とせず」とする第1次近衛声明を、同年11月には、この戦争の目的を「 [2] 」の建設にあるとする第2次近衛声明を^(ア)発したが、戦争終結のきっかけをつかむことはできなかつた。^(イ)

1940年3月、南京に日本側が支援して [3] 政権ができたが、同政権は、大きな影響力を持ち得なかつた。日本軍は、 [4] 政権が屈服しないのは、諸外国が援助しているからだと判断し、同政権への物資援助ルート遮断作戦を行い、のちにはルート遮断を名目に北部仏印進駐をおこなつた。^(ウ)

1941年12月の対英米開戦ののちも、日本軍は日中戦争に決着をつけるために1942年には重慶攻略作戦を計画したが、ガダルカナル島攻防戦など太平洋方面での戦闘の激化により中止された。^(エ)日本軍はつねに八路軍などのゲリラ戦と住民の離反に悩まされつづけ、作戦と治安維持のために、敗戦まで70万人から100万人もの大兵力を中国戦線にはりつけなければならなかつた。

第2次世界戦後、米ソ冷戦の影響で、中国の代表は、 [5] には招請されず、日本と中国との戦争状態の終結は先送りにされた。1972年、 [6] 首相が訪中して [7] を発表し、中華人民共和国との間の国交正常化がなされたが、今日にいたるまで、戦争の後始末や歴史認識をめぐって、日中両国の間には対話と交渉が必要な問題が山積している。^(カ)

問 1 空欄 1・2 にあてはまる語の組み合わせとして正しいものを、次の A～F のうちから一つ選べ。(解答番号 26)

- | | | |
|---|---------|------------|
| A | 1 - 柳条湖 | 2 - 東亜新秩序 |
| B | 1 - 柳条湖 | 2 - 大東亜新秩序 |
| C | 1 - 柳条湖 | 2 - 大東亜共栄圏 |
| D | 1 - 盧溝橋 | 2 - 東亜新秩序 |
| E | 1 - 盧溝橋 | 2 - 大東亜新秩序 |
| F | 1 - 盧溝橋 | 2 - 大東亜共栄圏 |

問 2 空欄 3・4 にあてはまる語の組み合わせとして正しいものを、次の A～F のうちから一つ選べ。(解答番号 27)

- | | | |
|---|---------|---------|
| A | 3 - 段祺瑞 | 4 - 毛沢東 |
| B | 3 - 張作霖 | 4 - 毛沢東 |
| C | 3 - 汪兆銘 | 4 - 毛沢東 |
| D | 3 - 段祺瑞 | 4 - 蔣介石 |
| E | 3 - 張作霖 | 4 - 蔣介石 |
| F | 3 - 汪兆銘 | 4 - 蔣介石 |

問 3 空欄 5・6・7 にあてはまる語として正しいものを、次の A～F のうちから一つ選べ。(解答番号 28)

- | | | |
|---|----------------------------------|----------|
| A | 5 - ポツダム会談
7 - 日中平和友好条約 | 6 - 福田赳夫 |
| B | 5 - ポツダム会談
7 - 日中共同声明 | 6 - 田中角栄 |
| C | 5 - サンフランシスコ講和会議
7 - 日中平和友好条約 | 6 - 福田赳夫 |
| D | 5 - サンフランシスコ講和会議
7 - 日中共同声明 | 6 - 田中角栄 |
| E | 5 - サンフランシスコ国連会議
7 - 日中平和友好条約 | 6 - 福田赳夫 |
| F | 5 - サンフランシスコ国連会議
7 - 日中共同声明 | 6 - 田中角栄 |

問 4 下線部(ア)に関し、第一次近衛内閣の時に行われたこととして誤っているものを、次の A～E のうちから一つ選べ。(解答番号 29)

- | | | | |
|---|-----------|---|-----------|
| A | 国家総動員法の公布 | B | 日独防共協定の締結 |
| C | 大本營の設置 | D | 国民精神総動員運動 |
| E | 企画院の設置 | | |

問 5 下線部(イ)について述べた文として正しいものを、次のA～Eのうちから一つ選べ。(解答番号 30)

- A この声明によって、日本政府は諸外国の中国に対する経済・軍事援助に反対すると宣言した。
- B この声明によって、日本政府は中国の門戸開放・機会均等を定めた九か国条約の条項を尊重すると宣言した。
- C この声明によって、日本政府は善隣友好・共同防共・経済提携の「近衛三原則」を宣言した。
- D この声明によって、英・米などは、日本には九か国条約を尊重する意思はないとみなし、日本と欧米諸国との関係は悪化した。
- E この声明によって、英・米などは、日本にはリットン報告書を尊重する意思はないとみなし、日本と欧米諸国との関係は悪化した。

問 6 下線部(ウ)と同じ年におこった、次のI～IVの出来事を古い順にならべたものとして正しいものを、下のA～Fのうちから一つ選べ。(解答番号 31)

- I 日独伊三国同盟の締結
 - II ドイツ軍のフランス侵攻開始
 - III 第2次近衛内閣の成立
 - IV 大政翼賛会の結成
- | | |
|---------------------|---------------------|
| A I - II - III - IV | B I - II - IV - III |
| C II - III - I - IV | D II - III - IV - I |
| E III - II - I - IV | F III - II - IV - I |

問 7 下線部(エ)に関連して、次のⅠ～Ⅳの出来事を古い順にならべたものとして正しいものを、下のA～Fのうちから一つ選べ。(解答番号 32)

- Ⅰ 米軍のサイパン島占領
 - Ⅱ 米軍B-29爆撃機による東京空襲の開始
 - Ⅲ マリアナ沖海戦での日本軍の敗北
 - Ⅳ 東条英機内閣総辞職
- A Ⅰ-Ⅲ-Ⅱ-Ⅳ B Ⅰ-Ⅲ-Ⅳ-Ⅱ
C Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ D Ⅲ-Ⅰ-Ⅳ-Ⅱ
E Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅳ F Ⅲ-Ⅱ-Ⅰ-Ⅳ

問 8 下線部(オ)について述べた文として誤っているものを、次のA～Eのうちから一つ選べ。(解答番号 33)

- A 中国戦線で日本軍は、生物化学兵器(毒ガスや細菌兵器)を使用した。
- B 中国戦線で日本軍は、住民の離反をさけるために、食糧を現地住民からの徴発(現地調達)することを大本営から禁止されていた。
- C 中国戦線で日本軍の捕虜になった中国兵の中には、日本に連れてこられて鉸山などで強制労働をさせられた者もいる。
- D 中国から飛び立った米軍B-29爆撃機が北九州を爆撃した。
- E 中国の主に華北で展開された日本軍による殺戮・破壊作戦のことを中国側は「三光作戦(政策)」と呼んだ。

問 9 下線部(カ)に関連して、日本がアジア諸国に対して行った戦争の後始末について述べた文として正しいものを、次のA～Eのうちから一つ選べ。(解答番号 34)

- A サンフランシスコ講和条約によって、ポツダム宣言に参加した連合国に対して日本政府は賠償を実施した。
- B 戦後、日本政府は、フィリピン・韓国・北朝鮮・インドネシア・ビルマ(現ミャンマー)・南ベトナム(当時)などのアジア諸国と2国間で賠償協定を結んだり、借款を供与したりした。
- C 1997年の化学兵器禁止条約の発効にともなって、旧日本軍が中国に遺棄した化学兵器(毒ガス)の調査・処理が自衛隊によって始まった。
- D 2005年8月15日の「戦後60年」の節目に日本政府は、「植民地支配と侵略」に言及した「村山談話」を発表した。
- E 2015年8月15日の「戦後70年」の節目に日本政府は、「村山談話」を踏襲した「安倍談話」を発表した。

